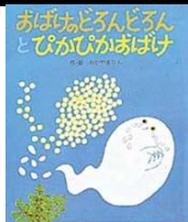


3歳児クラス 8月 第1回 「おばけのどろんどろんとぴかぴかおばけ」

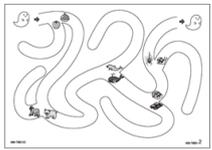
保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	保：「こんにちは」と絵本の表紙を見せながら登場。 講：「こんにちは。あなたは誰ですか？」等と、どろんどろんと会話を広げ「おばけ」の世界に興味を持てるように会話をする。最後に「散歩にいったらっしやい」と送り出し、お話への期待感を持たせてからシアターをスタートさせる。	教材 ★絵本 ★iPad(シアターセット)	 
	読み方	①おばけの動き、ホタルの動きを軽快に楽しく表現する。 ②ホタルは初夏の夜の水辺で光る虫であることを伝え、興味を持てるようにする。 ③場面に応じて子ども達を巻き込みながら読み進める。(例：ホタルをお腹に吸い込む場面では一緒に吸い込む・隠れる場面では「しーっ！」と静かにするように声をかける 等)	

がくしゅうタイム

活動①	ねらい 集中力	最後まで集中し、線の上に○シールを貼り続けることができる	
質問	どろんどろんの身体の線の上に黄色いシールを貼り、真ん中を黄色いクレヨンで塗って「ぴかぴかおばけ」に変身させましょう		
内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「どろんどろんもほたるさんもコウモリたちに見つからないで良かったね」 保：「あ〜あ！寂しいな…」とおばけ提示用プリントを持って登場。 講：「どろんどろん。どうしたの？」 保：「またほく、ぴかぴかおばけになりたいな〜」 講：「ホタルさん居なくなっちゃったからね。どうしたらまた光ることができるかな？」と、子ども達と一緒に考え、子どもからの意見を受けながら進行。「良いこと考えた」と、提示用シール（予めポケットなどに入れておく）を使って光らせる見本行動を行う。「♪ピツと取って ぴったんこ」をキーワードに1枚ずつシールを剥がし、リズムに乗って楽しくプリントのおばけの線の上に貼っていく。途中油断して線から外れる、シールの間に隙間をあけるなどの間違え行動をしながら… <ul style="list-style-type: none"> ①ぴつたり隙間なく貼ること ②どろんどろんのために最後まで集中して貼る 保：講師の間違え行動の度に「あれ？光らなくなったらどろんどろんが泣いちゃうね」「みんなも教えてあげて」など、子ども達を巻き込みながら声を掛け、見本行動に注目できるようにする。 講：最後まで見せなくても良い。子ども達が作業の内容を理解出来たところで「まだこんなにたくさん光らせて欲しい仲間がいるみたいよ…みんなもできるかな？最後まで頑張れるかな？」と、子ども達の意欲を高めてプリントとシールを配布する。 子：講師の見本同様シールを貼っていく。 講保：まずは見守り、静かに集中できる環境を整える。子どもの集中が途切れそうな時は「どろんどろん、泣いちゃう」「もっとぴかぴかにしてあげよう」「嬉しいって喜んでね〜」などと、個々に声をかけながら、集中が持続できるようにする。※仕上がりには時間の差が出ます。時間が掛かってしまう子や思うように進まない子には個々に合わせて補助をする（シールを剥がしやすい様に台紙の端を少し折るなど）。※早く貼り終わった子には「もっと光らせてあげよう」と、体の中を黄色いクレヨンで塗り、時間を調整する。※シールを重ねて貼るなどしてシールが足りなくなった子には、予備シールより「おかわり」として適量を渡す。 講：完成したプリントを見せ合い、最後まで頑張ったことを称賛（余裕があれば紙テープなどを準備してプリントに付け、お散歩するのも楽しい）。最後に「光って良かったね。そろそろ、おばけの国に帰るんだって」とプリントを回収して<活動②>に進む。 		教材 P1 P1用エーワンシール 1人1/2シート 予備シール3シート P1提示用 提示用シール1シート ★クレヨン
活動内容			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントを持って登場 ・子どもと一緒にやって見本行動を盛り上げる ・配布プリント提示 ・プリント、シール配布 ・子どもの集中を見守る ・必要に応じてシール貼りを補助 ・称賛 ・プリント回収

活動②	書く	ルールを理解してゴールまでたどり着くことができる	
設問	「く」のつく絵の方の道を通してスタートからゴールまで迷路を進みましょう		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保：「大変！どろんどろんが道に迷ってるみたい」とP2プリント提示。 講：「みんなで助けてあげよう」と、プリント配布。子ども達とスタートとゴールの位置を指さして確認。「先生やってみるから見てね」と見本行動。 <ol style="list-style-type: none"> 腕まくり、クレヨン準備、クレヨンの持ち方、紙の押さえ方等の基本を確認。 分かれ道で迷ったら「く」で始まる絵の方に進むとゴールできることをルールとして確認し、「スタート」させる。 道の真ん中に力強く線を引く（ゆっくりで良い） 途中の分かれ道では、それぞれの絵の名称と「く」で始まる方を子ども達と確認しながら「ゴール」まで進む。 子：講師の見本後同様にチャレンジする。 <ul style="list-style-type: none"> ※時間に余裕のある場合は、指で道をなぞり確認をしてからクレヨンで線を引く。 ※時間に余裕がない場合は、子ども達を巻き込みながら講師が代表行動で行い、子どもはプリントを持ち帰りでも良い。 講：全員でゴールできたことを確認し花丸やスタンプなどで称賛。プリントを回収して終了する。 		P2 ★クレヨン 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> プリント提示、配布 クレヨン配布（事前に机の上に準備しておいても良い） 子どもの理解度に合わせて補助 称賛 プリント回収

数チャレ	数	「4個」の数の操作を理解する	教材
設問	「4個」のおはじきの操作。（握った手の中に）おはじきはいくつ隠れてる？		おはじき
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1：3、2：2などおはじきを両手に分けて持ち、片方の手の中を見せて、もう片方の手に隠れたおはじきの数を考える。最後は「合わせて4個」を常に確認する。 		保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 「4個」のおはじきを操作し、クイズを出す。

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	場面に応じて子ども達を巻き込みながら読み進められたか
活動①集中力	子ども達の集中が途切れないように保育士にも口を閉じるように指示を出したか
活動②書く	道の真ん中をきちんと通って線を引くことを意識させられたか
数チャレ	クイズ感覚で行うことが出来たか（クラスに合わせて）

楽習タイム♪

*** テーマ・ことば ***

ことば遊び

●下の絵のように「あ」のつくもの何がある？」等とことばの最初につく文字を提示し、その文字で始まることばを見つける遊びからはじめてみましょう。
※文字がまだ読めなくても、文字カードが準備できれば文字への興味・理解に繋げることができますよ。

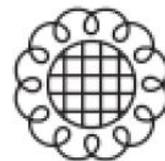


ことば遊びを通して子ども達の語彙を増やして行きましょう。



今月のえかきリズム

*** ひまわり ***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

